

学級活動学習指導案

場 所 3年B組教室

学 級 3年B組（男子12名，女子15名，計27名）

指導者 教諭 津志田 静徳

1 題材名 「自分の長所を面接で話せるようにしよう」

2 題材の指導について

(1) 題材について

特別活動における学級活動の目標は「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる」ことである。この目標を踏まえ、学級活動の内容「(3) 学業と進路」の項目「オ 主体的な進路の選択と将来設計」について学習する。

生徒自身が自ら興味、関心、適性などを十分理解し、自己実現を図ることは大切なことである。一方で自分の良さを自分で認識し、それを進路選択に活かそうという視点をもつことは難しいことである。

生徒がお互いのよさを評価し合い、自信を持って自分の良さを認め、面接で的確に表現できるようにすることは、自己肯定感を育てると共にこれからの面接練習をしていくにあたり、価値あることであることから、本題材を設定した。

(2) 生徒について

学級は真面目に活動する時と楽しく活動する時のメリハリができる集団に成長してきた。素直な生徒が多く、学級のリーダーや班長が中心となって男女協力して活動できている。学級のリーダーは自分から積極的に引っ張るタイプではないが、呼びかけや事前の根回しにより、周りからの協力や信頼も高く受けている。行事への取組では、リーダーを支える雰囲気があり、団結して計画的に準備することができる。しかし、自分から率先して行動しようとする生徒が少ないことが課題である。

Q-Uを用いた分析では、5月時点で非承認群に属する生徒が6名いた。そのため、グループ活動を多く取り入れる学級経営を心がけ、自分の考えを言える環境づくりと、他者の意見を聞き入れる場面を意図的に設定してきた。2度目の実施である10月時点では、非承認群に属する生徒が3名に減少するという、よい変化が現れてきている。

(3) 指導について

本時では、最初に面接のポイントを班で出し合うことにより、生徒に面接の視点を意識させ、落ち着いて面接ができるようにしたい。また、班員同士がお互いの長所を伝え合う活動を取り入れることで、言語活動の充実を図ると共に、自己肯定感をもたせ、自分の言葉で伝えられるようにさせたい。

的確に自分の長所を表現させることにより、生徒一人一人が自信をもって進路決定に向かっていけるようにすることで、学級全体の意欲を高めていく雰囲気を育てたい。

3 題材の指導計画

計 画	月
高校入試の概要について知る	5月
自分の適性について知る	6月
学習の悩みに対する解決策を考えよう	7月
面接の概要について知る	9月
自分の長所を面接で話せるようにしよう	本時

4 本時について

(1) 目標

- ①グループによる活動を通じて、一人一人が自分の長所に気付き、話せるようにする。
- ②自分の長所を理解することによって、自信をもって進路実現に向かう意欲をもつことができる。

(2) 本時の構想

3年生のこの時期、受験に対する悩みや不安を抱えている生徒が多い中、仲間と共に個々の悩みや不安を共感的にとらえながら、その悩みや不安とうまく付き合いながら進むしかないのだという学級の雰囲気育てたい。特に、自分のよいところはなかなか自分では探しにくいものである。そこで仲間によいところを見つけてもらい、自信をもって自分の長所を話せるよう、面接練習を行うことで、進路意識を向上させたいと考えた。

また、研究に関わって、本時では以下の点に留意し授業展開を考えたい。

① 表現する意欲を高める工夫

手本となる面接で、自分の長所を堂々と話している様子を見せることにより、目標となる姿を明確にすることで、本時の課題へ意欲的に取り組ませたい。また、自分では探しにくい自分のよいところを、他者から伝えてもらうことにより、自信をもって表現させたい。

② 一人一人に表現させる工夫

ホワイトボードを使用することにより、所作の視点(着席の仕方、座っている時の姿勢、視線、表情、言葉遣い)について意識させ、グループ内での話し合いをさせたい。また、掲示することで確認しながら面接練習を行なえるようにさせたい。自分の長所を自分の言葉でまとめられない生徒にも、時間をかけないでまとめられるようなシートを活用させたい。

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 15分	1 映像を見る	1 手本となる映像をみる。	◇立候補で決めさせる。 ◇班長が司会と発表、副班長が記録することを確認する。 ◇全員から意見を出させる。
	2 所作を確認する	2 事前に確認していた所作について各班で1つのポイントをホワイトボードに書く。(着席の仕方・座っている時の姿勢・視線・表情・言葉遣い)	
	3 発表	3 所作のポイントを黒板に掲示し発表する。	
	4 課題把握	4 本時の課題を確認する。	
自分の長所を面接で話せるようにしよう			
展開 29分	5 自分を知る	5 班員一人一人に長所を伝える。	◇事前に書いてあるカードを言葉で伝えて渡す。受け取ったら「ありがとう」と言わせる。 ◇左となりの人に伝える。 ◇自分を見つめさせるとともに、自分にも長所があることに気付かせる。 ◇班一箇所で練習。役割は面接官、受験者、観察者。 ◇お互いのよさを確認しながら表現できるようにする。
	6 長所をまとめる	6 シートに自分の長所をまとめる。	
	7 面接練習	7 面接官、受験者、観察者をローテーションして面接練習を行う。班員一人一人へアドバイスを伝える。(良い所ともしっかりしたところが良い所)	
	8 発表	8 代表一人発表する。	
終末 6分	9 振り返り	9 本時の活動を振り返り、振り返りシートに記入する。	◇個人としてどうだったのかを振り返らせる。
	10 発表	10 振り返りシートの内容を発表する。	

(4) 本時の評価

- ・面接で自分の長所を話すことができたか。
- ・自分の長所を理解し、面接練習へ意欲的に取り組むことができたか。